

～ 勇気ある決断～

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 竹ノ内賢一郎
◆編集責任者/担当 副会長 上田康文 ◆制作・編集 第42期広報委員会/委員長 石原 効

「第2回お地蔵さまフェスティバル」開催！！



新緑が眩しい5月14日(日)、中国地方最高峰である国立公園大山にて「第2回お地蔵さまフェスティバル」が開催された。昨年は悪天候により一般参加は中止という大変悔しい思いをした当事業。今年は澄み渡る青空の下、多くの方に参加していただいた。冒頭、竹ノ内会長より「昨年の悔いを晴らすかのように晴天になった。この大山の参道を沢山の笑顔で染めてほしい」と挨拶があった。



「お地蔵さま巡り・清掃」「石碑寄贈」「流しそば」「紙芝居」「絵画コンクール」「きのはちライブ」と盛り沢山のイベントが開催された。フェスティバルを終え、この日の為に変な苦労をした積善委員会、各関係者に感謝すると共に、来年もまたお地蔵さまに会えるのを楽しみに大山を後にした。

(記事:武田)

お地蔵さま巡り・清掃

「大山とお地蔵さまを通して、子供たちの心の成長に関わり『ふるさと』の原風景を残す」というミッションのもと企画されたが、大人たちの心配をよそに子供たちは冒険に出る様な足取りで楽しそうに7体のお地蔵様を巡り、お地蔵様をきれいに清掃していた。

お地蔵さま巡り・清掃は3班に分かれて行った。目的地のお地蔵さまに到着するとそれぞれのお地蔵様の名前の由来の説明があり、その後、合掌してお地蔵様に水を掛けて清掃作業を行った。「本当にきれいになってる」と言って嬉しそうに子供たちが磨く姿がとても印象的だった。

また、開山地蔵に到着するまでの道のりは大人が登るのも大変な山道だったが、絶景スポットもありこの大山の素晴らしさを実感し、心洗われる有意義な時間を過ごすことができた。

(記事:渡邊公平)



石碑寄贈



ほほえみ地蔵の前に大山寺圓流院大館住職やお地蔵様清掃のボランティアに参加された方々に集まって頂き、皆様の前で2つの名前入り石碑を寄贈させて頂いた。

1つ目は、「ほほえみ地蔵」と名前が入った石碑をほほえみ地蔵横に松田直前会長が設置された。

2つ目は、「子守地蔵」と名前が入った石碑を子守地蔵横に竹ノ内会長が置かれた。

最後に大館住職から「お地蔵さまと寄贈された石碑が見た目にもマッチしているので、これを見本として名前入り石碑を増やしていけるような機関に話していきたい」と感謝の言葉を頂き、集まった方々から盛大な拍手のもと寄贈式を終えることができた。

(記事:新井)

美味しい！楽しい！流しそば！

お地蔵さま巡り・清掃を終えて参道へ戻ると、半割の竹をつなげ50m強にも達した流しに水が流れていた。それを見た我々は途端にお腹が減り、いそいそと受付へ向かいお箸と麵つゆを受け取る。子供たちもワクワクして待ちきれない様子だ。竹ノ内会長の合図に皆で「いただきまーす！」。最初は少しづつ流れていた水と麵も次第に流量が増え、そばを手繰る参加者の前をスイスイと流れていく。大山の水と相まって大変美味しい。水と一緒に腹へ入るせいか直ぐにお腹いっぱいになるのは残念だが、実に楽しいイベントだった。

(記事:長谷川T)



お地蔵さまと牛馬市と大山の歴史



お腹がいっぱいになったところで子供たちを広場に集め、大山寺圓流院の吉島潤承館長による紙芝居《大山日本遺産物語》第1部「お地蔵さまの話」第2部「牛馬市とお地蔵さん」をご披露頂いた。この2部の紙芝居は吉島館長のお手製であり、圓流院を訪れる参拝者に大山寺の来歴と地蔵信仰について説くお話が子供向けに噛み砕かれており、お地蔵さまと大山と牛馬市の関わりが可愛らしいイラストと相まって非常に解り易かった。吉島館長の優しい語り口とともに子供たちの心にきっとしみ込んだことと思う。

(記事:長谷川T)

コンクール表彰式



大山寺周辺の施設に飾られたお地蔵さま絵画作品(大山町、伯耆町、江府町の園児対象)約600作品の中から、鳥取県西部総合事務所所長賞・大山町長賞・伯耆町長賞・大山観光局長賞・大山寺圓流院住職賞・鳥取県西部中小企業青年中央会会長賞にそれぞれ1名が選ばれ、表現豊かな受賞作品のお披露目とともに表彰された。参道に並ぶ協賛店舗に飾られた作品は多くの方に観賞され、ほのぼのとした空間を演出していた。

(記事:赤井)

魂に響いたき乃はち LIVE

第2回お地蔵さまフェスティバルのフィナーレを飾る「き乃はちLIVE2017～御魂～」が大山火の神岳温泉豪円湯院第1駐車場野外ステージにて開催された。当日は、日差しも強く風もあったが、き乃はちさんの軽快なトークもあって和やかな場となった。大山の北壁をバックに演奏された尺八の音色はどれも情景を思い浮かばせる楽曲だった。アンコールでは3曲も演奏され、会場は最高に盛り上がった。

(記事:赤井)



お地蔵さまフェスティバルを終えて — 積善委員会 委員長 高井 賢一 (有限会社松友 統括マネージャー)



昨年7月からこのプロジェクトが始まり、8月の担当例会でヒントを得て、『大山とお地蔵さまを通して子供たちの心の成長に関わり、「ふるさと」の原風景を残す』をミッションとして活動してきました。

上半期は様々な意見を頂きながら、フワフワと進んできたこのプロジェクト・・・(多くの方に「開催できるのか?」とご心配をおかけしました(。))。新年役員会にて竹ノ内会長からありがたい叱咤激励をいただき、下半期は会員の皆様、OB会員の方の英知、そして積善委員会のメンバーに助けられ、5月14日快晴の下、皆様の多大なご協力のお蔭で「第2回お地蔵さまフェスティバル」を無事開催することができました。大山寺への成功祈願から始まり、流しそば用の「竹取り」「竹割り」作業、清掃や巡りコースの打合せ、園児たちの作品展出品のお願いや回収、チラシのデザイン会議や広報案についてなど、たくさんの仲間を支えられ、そして囲まれて活動できたこの時間が私にとってとても幸せな時間となりました。

フェスティバル当日はたくさんの子供たちの笑顔を見ることもできました。このプロジェクトに関わっていただきました皆様に感謝の言葉を述べさせていただき、ご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました!!

OB訪問 東亜ソフトウェア株式会社

川端今日子OB (第35期ご卒会)を訪ねて



今月のOB訪問は東亜ソフトウェア株式会社 執行役員ビジネスサポート部 部長 川端今日子OBを訪ねました。初めてお会いしましたが、とても優しい感じが印象的でした。中央会の活動では、人づくり委員会において会議手法のDVDを作成し、ナレーションをされたこと

などが思い出に残っているそうです。また、例会などで勉強したことが実際の仕事でも役立つ場面があったことなど話していただきました。

現役会員には、「色々チャレンジできる場所なので、チャンスを活かしてチャレンジして欲しい。一步踏み出すことで変わっていくことがたくさんあるので、躊躇しないで飛び込んでみて欲しい」とのお言葉を頂きました。

川端今日子OB、大変お忙しい中、快くOB訪問を承諾頂き本当にありがとうございました。

(記事:福島)

中央会 Q & A

川端OBが委員長をされた委員会の名前は?

~答えはHPにて~

企業紹介 ~翔け新入会員~

三井生命保険株式会社 友松浩一



三井生命は平成29年3月5日にて会社創立90周年となりました。

まずは長きにわたり、ご愛顧いただいたお客さまに、心より感謝申し上げます。

またその中で三井生命と中小企業団体中央会の提携は昭和48年から続く長い歴史を持っています。

当時、世の中は高度成長時代。中小企業は深刻な労働力不足という悩みを抱えていました。そのような中で中国地方5県中小企業団体中央会にて、中小企業の人材確保や定着を図るため特定退職金共済制度が発足。三井生命は引受保険会社として選ばれて以来、中小企業団体中央会と提携しながら福利厚生制度のサポートを行っています。

また「三人寄れば文殊の知恵」といわれるように、中小企業の方々が集まり組合を作り、企業発展のための第一につながるよう日々支援をおこなっております。三井生命は「いつの時代も、お客さまのためにあれ」という初代社長 団琢磨の考えのもと創業以来常にお客さまを第一に掲げた経営を行っています。地元を根ざしたライフコンサルタントが長期的な信頼関係のもと地域の企業や個人のお客さまをサポートしています。

さらに中小企業団体中央会とともにセミナーの開催や異業種交流会を行い、企業同士の連携、ビジネスマッチングのお手伝いもしています。三井系をはじめとする大企業の窓口である当社法人営業部が中心となって、大企業と中堅企業、中小企業とのビジネスマッチングのサポートにも積極的に取り組んでいます。

(株)三井生命 URL



株式会社 WAZM 青戸和功



平成29年4月に入会致しました株式会社WAZM(ワズム)代表取締役の青戸和功と申します。

弊社の事業内容は広告代理業を営む中、主に「週刊ワズム」という求人・宣伝広告チラシを毎週作成しております。米子市を中心に、境港市・西伯郡・安来市にポスティング及び新聞折込みにて発行しております。

求人につきましては全国でも人材不足が大きく叫ばれ、県民人口が最も少なく若年者の県外流出が多い鳥取県は、求人という分野がダントツに難しくなりつつあります。そういった現状を踏まえた上で少しでも地元企業様・求職者の方のお役に立てる媒体になる様努める所存です。

また、宣伝広告につきましても地元企業様の売上げや集客に直結する確かな情報やイベントの告知などをご提案させて頂いております。「週刊ワズム」は毎週タイムリーにお届けしますので、地元の方々へ足を運んで頂くきっかけを作り活気に満ちた元気な街のお手伝いを少しでもできればと思っております。

お客様、読者の方の立場にたち、分かりやすく役立つ媒体をご提供して参りますので、何卒宜しくお願い致します。

(株)WAZM URL



新入会員オリエンテーション

平成29年5月22日(月)米子市公会堂にて新入会員オリエンテーション(担当:積善委員会)が開催された。

冒頭に竹ノ内会長の挨拶があり、「現状の型をしっかり学んで、次の時代の型を作ってほしい」と話された。その後福山専務理事からスローガン“翔人”、テーマ“勇氣ある決断”、また年間活動指針について説明頂き、「スローガン、テーマは年度会長の想いを込めたものであるので大事にしてほしい」と話された。

続いて積善委員会のメンバーから、中央会の組織、OB会との関わり、トライアスロンとの関わり、ホームページや広報誌、周年事業や継続事業など中央会活動について詳しく解りやすく説明が行われた。質疑応答では様々な質問があがった。

最後に廣谷副会長から「今日の新入会員オリエンテーションを受けて初めてスタートラインに立てたと思います。新入会員から諸先輩方に声をかけて仲良くなってほしい」と総評を頂き、閉会した。

オリエンテーション後には懇親会が行われ、新入会員から自己紹介と本日の感想が発表された。各委員長からは中央会に対する熱い想いを語って頂き、新入会員も真剣な眼差しで話を聞いていた。

(記事:高下)



政治ビジネス委員会 オープン委員会

講演云: 新市長



平成29年5月24日、伊木隆司 米子市長をお招きし米子市公会堂にて政治ビジネス委員会のオープン委員会が開催された。第一部は「新市長が語る米子の未来図」と題した伊木市長の講演が行われ、第二部は会員との意見交換会が行われた。

第一部では米子市を中心市街地、弓ヶ浜、皆生、淀江、南部・箕蚊屋の5ブロックに分け、各ブロックの歴史や特色を挙げ、今後の方針について述べられた。

第二部では、会員からの質問に対し丁寧に回答されていた。米子商工会議所青年部会長の経歴を持つ伊木市長は、自身が米子市へ提言していた公共交通機関の役割を重要視する考えを示された。

これから米子市の舵をとる伊木市長と会員との意見交換により、米子市の発展へ向けて光が差してきたと感じた委員会だった。

(記事:高田)

6月例会に向けて

広報委員会 委員長 石原 効

(石原電気設備 代表)



昨年7月から第42期がスタートし、早いもので今期を締めくくる6月例会を開催する時期となりました。期首に竹ノ内会長より各委員会に与えられた指針を達成する為に6名の委員長が中心となり一つ一つ大切に本気で取り組み歩んできた1年間でした。

時には悩み、迷いながら勇気をもって決断し一步一步足跡を残しながら滑走路を加速し大空に大きな翔を広げ駆け巡る「翔人」になった6名の委員長に自らの想いを込めた委員会報告を全会員に聞いていただきたいと思います。

そして第42期の締めくくりとともに第43期三輪会長に次年度方針を発表していただきます。これまで以上に素晴らしい実りある1年間になるように全会員で意識を高めていきたいです。

6月14日(水)は第42期の集大成、第43期の門出となる大切な1日です！

全会員が同じ時間を過ごして思いを共有できるように、ご多忙とは存じますが是非とも出席のほど宜しくお願い致します。

会長杯ゴルフコンペ開催



今年初の30℃を上回る晴天の下、鳥取県西部中小企業青年中央会「会長杯ゴルフコンペ」が5月20日(土)グリーンパーク大山ゴルフ倶楽部にて、松岡県会長をはじめ東部・中部からも多数ご参加いただき、総勢41名の会員が集って開催されました。

竹ノ内会長から始球式のボールが青空に打ち放たれ300ヤード先のフェアウェイに着弾した後、参加者は優勝目指してスタートしていきました。

各ホールから「ナイスショット！」という歓声、時には「ファー!!!」という悲鳴が聞こえてくるなど、終始和やかな雰囲気でした。

そして見事優勝を勝ち取ったのは東部の船越県出向理事でした。閉会式では日焼けをした参加者の真っ赤な顔と笑顔が充実した1日を物語っていました。
(記事:石原 効)



県青中サッカー

松岡県会長率いる県青中サッカーチーム、鳥取YEG、鳥取JCが、5月7日(日)布勢運動公園にてサッカーを通じて交流を深めました。

ゴールデンウィーク最終日の爽やかな日差しの中、翌日からの仕事も忘れ、少年のころを思い出したかのように夢中になって1つのボールを追いかけて心地よい汗を流しました。

結果は惜しくも第2位と惜敗となりましたが楽しい時間を過ごすことができました。

(記事:石原 効)



6月役員会報告

6月役員会が同月1日(木)米子市公会堂第1集会室にて開催されました。当日の主な内容は以下のとおりです。

- ・大山お地藏さまプロジェクト開催報告の件
- ・6月例会開催の件
- ・総会・卒会式、懇親会開催の件

詳細については各委員長にご確認下さい。

6月例会案内

と き:平成29年6月14日(水) 19:00~21:05

と ころ:米子コンベンションセンター 小ホール

内 容:第42期委員会報告
第43期年度方針発表

担 当:第42期広報委員会

編集後記

皆様、お地藏さまフェスティバルお疲れ様でした。特に積善委員会の皆様は段取りや準備など大変だったと思います。本当にお疲れ様でした。

大いに盛り上がったフェスは継続事業として次年度にバトンを渡せたと思います。

(広報委員会 新井翔太)

今年も頑張ります！ 皆生トライアスロン！！

当会の継続事業として長年携わっている全日本トライアスロン皆生大会が7月16日(日)に37回目を迎えます。大会成功に向け全現役会員がボランティア部・マラソン部・エイドステーション部に別れ数ヶ月前から準備を重ね大会当日の深夜まで大会を支えています。

6月3日(土)には、高塚マラソン部長率いるマラソン部が中心となってマラソンコース沿道にポスターを貼り大会を盛り立てる活動を行いました。

大会当日は、全国から己に課せた目標を達成する為に鉄人達が皆生に集結し多くの感動とドラマを毎年私達に与えてくれます。

これからも大会当日に向けボランティア部の活動、各マラソンコース・エイドステーション備品準備、そしてコース看板立て等多くの準備が有りますが、ALL中央会で頑張ります！！



(記事:石原 効)